

論文要旨

所属ゼミ	河野 宏和 研究会	学籍番号	80830464	氏名	佐久間 寛
(論文題名)					
看護師の業務に関する研究～看護師の作業負荷軽減と作業の標準化に向けて～					
(内容の要旨)					
<p>筆者は、卒業研究において医療機関における安全管理に関する研究を行った。その研究では、多忙な中、多くの看護師（以下、Ns）の方々に調査にご協力していただいた。卒業研究を通して、Ns は、患者の健康促進、病状の回復のために最大限の努力をして、業務に従事していることを痛感した。しかし、その現状はNsにとって働きやすい環境になっているとは言いがたい。そのため、Ns は心身ともに疲弊し、離職や事故の発生につながっていると考えられる。また一方で、医療機関側には、シフト間での業務連携や事故を防ぐために、可能な限り作業の標準化を進めたいという問題意識がある。このような問題意識から、本研究では、看護師の作業負荷の軽減のための観点の抽出、及び作業の標準化の方法について検討することを目的としている。</p> <p>本研究では、まず初めにNsへヒアリング調査を行い、帯同調査の際の着眼点の洗い出しを行った。その後、フィールド調査としてNsへの帯同調査を行い、情報収集を行った。帯同調査とは、実際に病院での看護業務を、勤務時間帯に帯同して記録する方法である。収集したデータは、日本語の文型を活用して、業務一覧表として整理した。ヒアリング内容、文献を活用し、Nsが作業負荷を感じるプロセスを検討し、一覧表から作業負荷を感じている要素を抽出した。さらには、帯同調査の結果を活用して、業務の可視化の方法、及び業務フローのパターン化の方法を検討した。</p> <p>これらの研究結果を活用することで、Nsの作業負荷を軽減する視点を示し、併せて改善活動など医療機関における質の向上のための活動の促進に寄与することができる。今後の課題としては、収集したデータの網羅性の向上や帯同調査方法の整備などが挙げられる。</p>					